

Dell Latitude 3301

セットアップと仕様ガイド



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

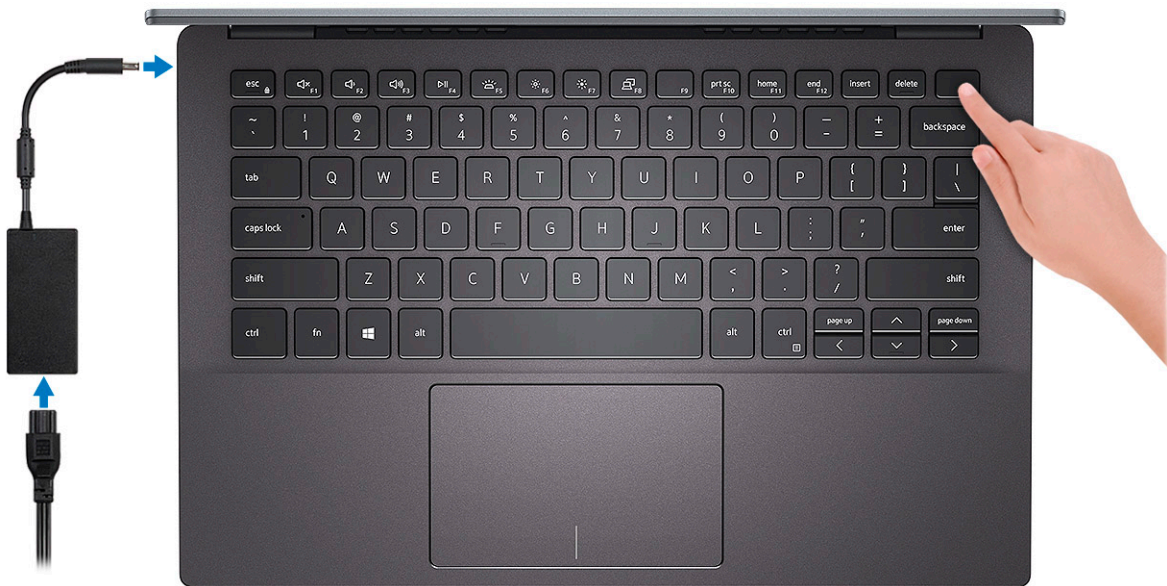
章 1: コンピュータのセットアップ	5
章 2: Windows 用の USB 回復ドライブの作成	7
章 3: シャーシ	8
ディスプレイビュー.....	8
左面図.....	8
右面図.....	9
パームレストの図.....	9
底面図.....	9
キーボードのショートカット.....	10
章 4: 技術仕様	11
システム情報.....	11
プロセッサ.....	12
メモリー.....	12
ストレージ.....	12
システム基板のコネクタ.....	13
メディアカードリーダー.....	13
オーディオ.....	13
ビデオカード.....	14
カメラ.....	14
ワイヤレス.....	14
ポートとコネクタ.....	14
ディスプレイ.....	15
キーボード.....	15
タッチパッド.....	16
指紋認証リーダー (FPR) — オプション.....	16
オペレーティングシステム.....	16
バッテリー.....	17
電源アダプター.....	17
センサーおよびコントロールの仕様.....	18
寸法と重量.....	18
コンピュータ環境.....	18
セキュリティ.....	19
セキュリティソフトウェア.....	19
章 5: ソフトウェア	20
Windows ドライバのダウンロード.....	20
章 6: セットアップユーティリティ	21
BIOS の概要.....	21
BIOS セットアッププログラムの起動.....	21
ブートメニュー.....	21

ナビゲーションキー.....	22
ワンタイムブートメニュー.....	22
セットアップユーティリティのオプション.....	22
一般オプション.....	22
システム情報.....	23
ビデオ.....	24
セキュリティ.....	24
パスワード.....	25
Secure Boot (安全起動).....	26
インテルソフトウェアガードエクステンションズ.....	26
パフォーマンス.....	27
電力管理.....	27
ワイヤレス.....	28
POST Behavior (POST 動作).....	28
Virtualization Support (仮想化サポート).....	29
メンテナンス画面.....	29
システムログ.....	30
SupportAssist システムの解決策.....	30
BIOS のアップデート.....	30
Windows での BIOS のアップデート.....	30
Linux および Ubuntu での BIOS のアップデート.....	31
Windows の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート.....	31
F12 ワンタイムブートメニューからの BIOS のアップデート.....	31
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	32
システムセットアップパスワードの割り当て.....	32
既存のシステムセットアップパスワードの削除または変更.....	33
BIOS (システムセットアップ) パスワードとシステムパスワードのクリア.....	33
章 7: ヘルプ.....	34
Dell へのお問い合わせ.....	34

コンピュータのセットアップ

1. 電源アダプタを接続して、電源ボタンを押します。

メモ: バッテリー電源を節約するために、バッテリーが省電力モードになることがあります。



2. Windows システムのセットアップを完了します。

画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。

- ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
メモ: セキュアなワイヤレスネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレスネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
- インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
- Support and Protection (サポートおよび保護) の画面で、連絡先の詳細を入力します。

3. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。 — 推奨

表 1. Dell アプリを見つける






Dell アプリ	詳細
	Dell 製品の登録 デルに、お使いのコンピュータを登録します。
	Dell ヘルプとサポート コンピュータのヘルプとサポートにアクセスします。

表 1. Dell アプリを見つける (続き)

Dell アプリ	詳細
	<p>SupportAssist</p> <p>コンピュータのハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。</p> <p>i メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。</p>
	<p>Dell アップデート</p> <p>重要な修正プログラムおよびデバイス ドライバが提供された場合に、お使いのコンピューターを更新します。</p>
	<p>Dell Digital Delivery</p> <p>さまざまなソフトウェア アプリケーション (購入済みだがブライインストールされていないソフトウェアなど) を、お使いのコンピューターにダウンロードします。</p>

4. Windows 用のリカバリドライブを作成します。

i **メモ:** Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成することが推奨されています。

詳細に関しては、「[Windows 用の USB 回復ドライブの作成](#)」を参照してください。

Windows 用の USB 回復ドライブの作成

Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成します。回復ドライブを作成するには、容量が少なくとも 16 GB で空の USB フラッシュドライブが必要です。

メモ: このプロセスの完了までに、最大 1 時間かかる場合があります。

メモ: 次の手順は、インストールされている Windows のバージョンによって異なることがあります。最新の説明については、[Microsoft のサポートサイト](#)を参照してください。

1. お使いのコンピュータに USB フラッシュドライブを接続します。
2. Windows 検索に **回復** と入力します。
3. 検索結果で、[**回復ドライブの作成**] をクリックします。
[**ユーザーアカウント制御**] ウィンドウが表示されます。
4. [**はい**] をクリックして続行します。
[**回復ドライブ**] ウィンドウが表示されます。
5. [**システムファイルを回復ドライブにバックアップします**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
6. [**USB フラッシュドライブ**] を選択し、[**次へ**] をクリックします。
USB フラッシュドライブ内のデータがすべて削除されることを示すメッセージが表示されます。
7. [**作成**] をクリックします。
8. [**完了**] をクリックします。
USB 回復ドライブを使用して Windows を再インストールする方法の詳細については、www.dell.com/support/manuals にあるお使いの製品の『**サービス マニュアル**』で、「**トラブルシューティング**」の項を参照してください。

シャーシ

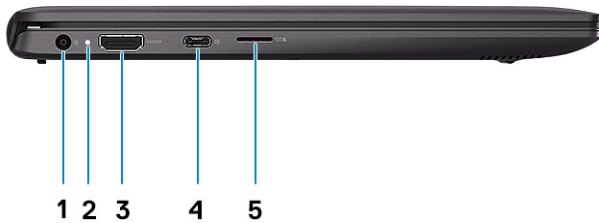
本章では、シャーシの各部（ポートおよびコネクタを含む）を図示すると共に、Fn ホットキーの組み合わせについて説明します。
トピック：

- ディスプレイビュー
- 左面図
- 右面図
- パームレストの図
- 底面図
- キーボードのショートカット

ディスプレイビュー

1. 左マイク
2. カメラ
3. カメラステータスライト
4. 右マイク
5. LCD パネル

左面図



1. 電源コネクタ ポート
2. ステータスライト
3. HDMI ポート
4. DisplayPort 1.4 搭載 USB 3.1 Gen1 Type-C ポート
5. microSD カード スロット

右面図



1. ヘッドセット ポート
2. USB 3.1 Gen 1 ポート



1. uSim カードトレイ (ブラック PC のみ)
2. ユニバーサル オーディオ ジャック (ヘッドセット/マイクロフォン コンボ)
3. USB 3.1 Gen 1

パームレストの図

1. 電源ボタン (オプションの指紋リーダー内蔵)
2. キーボード
3. タッチパッド

底面図

1. サービス タグラベル
2. スピーカー

キーボードのショートカット

メモ: キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。

表 2. キーボードのショートカットのリスト

キー	説明
Fn+Esc	Fn キーロックの切り替え
Fn+F1	消音
Fn+F2	音量を下げる
Fn+F3	音量を上げる
Fn+F4	再生/一時停止
Fn+F5	キーボード バックライトをオン/オフにする
Fn+F6	輝度を下げる
Fn+F7	輝度を上げる
Fn+F8	外部ディスプレイに切り替え
Fn+F10	プリントスクリーン
Fn+F11	ホーム
Fn+F12	終了
Fn+Ctrl	アプリケーションメニューを開く

技術仕様

メモ: 提供されるものは地域により異なる場合があります。以下の仕様は、お客様のコンピューターの出荷に際して法律で定められた項目のみ記載しています。お使いのコンピューターの構成の詳細については、Windows オペレーティングシステムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

トピック：

- システム情報
- プロセッサ
- メモリー
- ストレージ
- システム基板のコネクタ
- メディアカードリーダー
- オーディオ
- ビデオカード
- カメラ
- ワイヤレス
- ポートとコネクタ
- ディスプレイ
- キーボード
- タッチパッド
- 指紋認証リーダー (FPR) — オプション
- オペレーティングシステム
- バッテリー
- 電源アダプター
- センサーおよびコントロールの仕様
- 寸法と重量
- コンピュータ環境
- セキュリティ
- セキュリティソフトウェア

システム情報

表 3. システム情報

特長	仕様
チップセット	統合プロセッサ
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	32 MB
PCIe バス	Gen3 まで
外付けバスの周波数	最大 8 GT/秒

プロセッサ

① **メモ:** プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 4. プロセッサの仕様

タイプ	UMA グラフィックス
第 8 世代インテル Core i7-8565U プロセッサ (8 MB キャッシュ、4 コア/8 スレッド、最大 4.6 GHz、15 W TDP)	インテル UHD グラフィックス 620
第 8 世代インテル Core i5-8365U プロセッサ (6 MB キャッシュ、4 コア/8 スレッド、最大 4.1 GHz、15 W TDP)	インテル UHD グラフィックス 620
第 8 世代インテル Core i5-8265U プロセッサ (6 MB キャッシュ、4 コア/8 スレッド、最大 3.9 GHz、15 W TDP)	インテル UHD グラフィックス 620
第 8 世代インテル Core i3-8145U プロセッサ (4 MB キャッシュ、2 コア/4 スレッド、最大 3.5 GHz、15 W TDP)	インテル UHD グラフィックス 620

メモリー

表 5. メモリーの仕様

特長	仕様
最低メモリ構成	4 GB
最大メモリ構成	16 GB
スロット数	下はんだ付け
メモリオプション	<ul style="list-style-type: none">● 4 GB● 8 GB● 16 GB
タイプ	LPDDR3
速度	2133 MHz

ストレージ

表 6. ストレージの仕様

タイプ	フォームファクタ	インターフェース	容量
プライマリストレージ	<ul style="list-style-type: none">● M.2 2230 SSD● M.2 2280 SSD	<ul style="list-style-type: none">● クラス 35● クラス 40	<ul style="list-style-type: none">● 最大 512 GB● 最大 512 GB
セカンダリストレージ	M.2 2230	クラス 35	最大 512 GB (ブラック PC WLAN 設定のみ、WWAN M. 2 スロットを利用)

システム基板のコネクタ

表 7. システム基板のコネクタ

特長	仕様
M.2 コネクタ	<ul style="list-style-type: none">● 1x M.2 2230 ハイブリッド Key-E コネクタ● 1x M.2 2280 Key-M コネクタ● 1x M.2 3042 Key-B コネクタ● 1x M.2 2230 Key-E コネクタ● 1x M.2 2280 Key-E コネクタ● 1x M.2 3042 Key-B コネクタ

メディアカードリーダー

表 8. メディアカードリーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	MicroSD カード : 最大 2 TB をサポート

オーディオ

表 9. オーディオの仕様

特長	仕様
コントローラ	Waves MaxxAudio Pro 搭載 Realtek ALC3204
ステレオ変換	24 ビット DAC (デジタル/アナログ変換) および ADC (アナログ/デジタル変換)
タイプ	HD オーディオ
スピーカー	2 台
インタフェース	内部 : <ul style="list-style-type: none">● インテル HDA (ハイデフィニッション オーディオ) 外部 : <ul style="list-style-type: none">● 7.1 チャンネル出力 (HDMI 経由)● カメラ モジュールのデジタル マイク入力● ヘッドセット コンボ ジャック (ステレオ ヘッドフォン/マイク入力)
アンプ内蔵スピーカー	ALC3204 に内蔵 (Class-D 2 W)
外付けボリューム コントロール	メディアコントロールショートカットキー
スピーカー出力 :	平均 : 2 W ピーク : 2.5 W
マイク	デジタルアレイマイク

ビデオカード

表 10. ビデオカードの仕様

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリータイプ	容量	最大解像度
インテル®UHD グラフィックス 620 内蔵	UMA/内蔵型のみ	<ul style="list-style-type: none">インテル Core i7-8565U CPUインテル Core i5-8365U CPUインテル Core i5-8265U CPUインテル Core i3-8145U CPU	LPDDR3 (システムメモリーと共有)	最大 8 GB (システムメモリーと共有)	外部出力をサポートする HDMI 1.4

カメラ

表 11. カメラの仕様

特長	仕様
カメラのタイプ	2.7 mm、4 要素レンズ、HD RGB カメラ
解像度	静止画像：0.92 メガピクセル 動画：1280 x 720 (HD) (30 fps において)
対角視野角	74.9 度
センサーのタイプ	CMOS センサーテクノロジー

ワイヤレス

表 12. ワイヤレスの仕様

特長	仕様
WLAN	<ul style="list-style-type: none">インテル Dual Band Wireless AC 9560 WiFi (802.11ac) 2x2 + Bluetooth 5.0 (Bluetooth オプション)インテル Dual Band Wireless AC 9462 WiFi (802.11ac) 1x1 + Bluetooth 5.0
WWAN	インテル XMM 7360 LTE-Advanced、Cat 9

ポートとコネクタ

表 13. ポートとコネクタ

特長	仕様
メモリーカードリーダー	1 x microSD 3.0 カードリーダー
SIM カードリーダー	1 x uSim カードトレイ (ブラック PC のみ)
USB	<ul style="list-style-type: none">1 x USB Type C 3.1 Gen 1 (Power Delivery および DisplayPort1.2 対応)1 x USB 3.1 Gen 1

表 13. ポートとコネクタ (続き)

特長	仕様
オーディオ	1x ユニバーサル オーディオ ジャック (ヘッドセット/マイク コンボ)
ビデオ	1x HDMI 1.4
その他	<ul style="list-style-type: none"> 1x DC 入力、4.5mm バレル 1x 電源ボタンにオプションのタッチ式指紋認証リーダー

ディスプレイ

表 14. ディスプレイの仕様

特長	仕様	
タイプ	FHD (フルハイ デフィニション)	HD (ハイ デフィニション)
高さ (アクティブ エリア)	165.24 mm (6.50 インチ)	165.20 mm (6.50 インチ)
幅 (アクティブ エリア)	293.76 mm (11.60 インチ)	293.83 mm (11.60 インチ)
対角線	337.04 mm (13.30 インチ)	337.09 mm (13.30 インチ)
PPI (1 インチあたりの画素数)	166	118
コントラスト率	400:1	400:1
明るさ/輝度 (標準)	300 ニット	220 nits
リフレッシュレート	60 Hz	60 Hz
水平可視角度 (最小)	+/- 80 度	+/- 45 度
垂直可視角度 (最小)	+/- 80 度	上部 15 度、下部 35 度
電力消費量 (最大)	4.6 W	4.5 W

キーボード

表 15. キーボードの仕様

特長	仕様
キーの数	<ul style="list-style-type: none"> 米国とカナダ : 81 キー 英国 : 82 キー 日本 : 85 キー
サイズ	<ul style="list-style-type: none"> X = 18.70 mm キー ピッチ Y = 18.05 mm キー ピッチ
バックライト付きキーボード	オプション (バックライトおよびバックライトなし)
レイアウト	QWERTY

タッチパッド

表 16. タッチパッドの仕様

特長	仕様
解像度	1920 x 1080
寸法	<ul style="list-style-type: none">幅 : 105 mm (4.13 インチ)高さ : 65 mm (2.56 インチ)

表 17. 対応ジェスチャー

対応ジェスチャー	Windows 10
カーソルの移動	対応
クリック/タップ	対応
クリックしてドラッグ	対応
2 本指でスクロール	対応
2 本指でピンチ/ズーム	対応
2 本指でタップ (右クリック)	対応
3 本指でタップ (Cortana の呼び出し)	対応
3 本指で上にスワイプ (開いているウィンドウをすべて表示)	対応
3 本指で下にスワイプ (デスクトップの表示)	対応
3 本指で左右にスワイプ (開いているウィンドウの切り替え)	対応
4 本指でタップ (アクション センターの呼び出し)	対応
4 本指で左右にスワイプ (仮想デスクトップの切り替え)	対応

指紋認証リーダー (FPR) — オプション

表 18. 指紋リーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	FPR 搭載電源ボタン
センサーテクノロジー	容量式
センサーの解像度	500 ppi
センサー領域	4.06 mm x 3.25 mm

オペレーティングシステム

表 19. オペレーティングシステム

特長	仕様
サポートされているオペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none">Windows 10 Home (64 ビット)Windows 10 Professional (64 ビット)Ubuntu 16.04 LTS 64 ビット

バッテリー

表 20. バッテリー

特長	仕様	
タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ● 4セル「スマート」リチウムイオン (45 WHr) ● 4セル「スマート」リチウムイオン (52 WHr) 	
寸法	幅	4.30 mm (0.17 インチ)
	奥行き	257.60 mm (10.17 インチ)
	高さ	97.04 mm (3.82 インチ)
重量 (最大)	0.22 kg (0.49 ポンド)	
電圧	7.60 VDC	
寿命	300 サイクル (充電 / 放電)	
コンピュータ非起動時の充電時間 (概算)	4 時間 (コンピュータの電源がオフの場合)	
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費する状況では大幅に短くなる可能性があります。	
温度範囲 : 動作時	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	
温度範囲 : 保管時	-40°C ~ 65°C (-40°F ~ 149°F)	
コイン型電池	CR-2032 ⓘ メモ: コンピュータには、Dell コイン型電池を使用することをお勧めします。Dell 製以外のアクセサリ、パーツ、またはコンポーネントの使用によって生じる問題は保証の対象となりません。	

電源アダプター

表 21. 電源アダプターの仕様

特長	仕様	
タイプ	65 W E4	65 W Type C
外径 (mm)	4.50 mm	
内径 (mm)	2.90 mm	
入力電圧	100 ~ 240 VAC	100 ~ 240 VAC
入力電流 (最大)	1.6 A/1.7 A	1.7 A
入力周波数	50 Hz ~ 60 Hz	50 Hz ~ 60 Hz
出力電流	3.34 A (連続稼働時)	<ul style="list-style-type: none"> ● 20 V/3.25 A (連続) ● 15 V/3 A (連続) ● 9.0 V/3 A (連続) ● 5.0 V/3 A (連続)
定格出力電圧	DC19.50 V	20 VDC/15 VDC/9 VDC/5 VDC
重量	0.29 kg (0.64 lb)	0.22 kg (0.48 lb)

表 21. 電源アダプターの仕様 (続き)

特長	仕様	
アダプタのサイズ	寸法 インチ : 1.10 x 1.90 x 4.30 mm : 28 x 47 x 108	寸法 インチ : 1.1 x 2.0 x 4.4 mm : 28 x 51 x 112
温度範囲 (動作時)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
ストレージ (作動時)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

センサーおよびコントロールの仕様

表 22. センサーおよびコントロールの仕様

仕様
1. マザーボード上の落下防止センサー
2. ホール効果センサー(蓋が閉じているときに検知)

寸法と重量

表 23. 寸法と重量

特長	仕様
高さ	16.80 mm/0.66 インチ (PC) 14.90 mm/0.59 インチ (AI)
幅	307.6mm/12.11 インチ (PC) 307.6mm/12.11 インチ (AI)
奥行き	204.50 mm/8.05 インチ (PC) 204.50 mm/8.05 インチ (AI)
重量	<ul style="list-style-type: none"> 1.18 kg/2.61 ポンド (PC) 1.17 kg/2.59 ポンド (AI)

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル : G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 24. コンピュータ環境

	動作時	ストレージ
温度範囲	0 ~ 35°C (32 ~ 95°F)	-40°C ~ 65 °C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10 ~ 90 % (結露しないこと)	10 ~ 95 % (結露しないこと)
振動 (最大)	0.66 GRMS	1.30 GRMS
衝撃 (最大)	110 G†	160 G‡
高度 (最大)	-15.2 ~ 3048 m (-50 ~ 10,000 フィート)	該当なし

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。

† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

‡ ハードドライブヘッドが停止位置にある時に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

セキュリティ

表 25. セキュリティ

特長	仕様
TPM (Trusted Platform Module) 2.0	システム基板内蔵
Firmware TPM	オプション
Windows Hello のサポート	有、オプションの指紋認証リーダー内蔵電源ボタン
TPM の FIPS 140-2 認証	有
指紋認証リーダーのみ	電源ボタンに内蔵のタッチ式指紋認証リーダー (ControlVault 3 に接続)

セキュリティ ソフトウェア

表 26. セキュリティ ソフトウェアの仕様

仕様
Dell Client Command Suite
オプションの Dell Data Security および管理ソフトウェア
<ul style="list-style-type: none">● Dell Endpoint Security Suite Enterprise● Dell Data Guardian● Dell Encryption Enterprise● Dell Encryption Personal● Dell Threat Defense● MozyPro または MozyEnterprise● RSA NetWitness Endpoint● RSA SecurID Access● VMware Workspace ONE● Absolute Endpoint Visibility and Control


ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

トピック：

- [Windows ドライバのダウンロード](#)

Windows ドライバのダウンロード

1. ノートパソコンの電源を入れます。
2. [Dell.com/support](https://www.dell.com/support) にアクセスしてください。
3. [製品サポート] をクリックし、ノートパソコンのサービス タグを入力して、[送信] をクリックします。
 **メモ:** サービス タグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノートパソコンのモデルを手動で参照してください。
4. [Drivers and Downloads (ドライバーおよびダウンロード)] をクリックします。
5. お使いのノートパソコンにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバーを選択してインストールします。
7. [ファイルのダウンロード] をクリックして、お使いのノートパソコン用のドライバーをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバーファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバーファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティでは、タブレットデスクトップノートブック ハードウェアの管理と BIOS レベル オプションの指定を行うことができます。システムセットアップから実行できる操作は次のとおりです。

- ハードウェアの追加または削除後に NVRAM 設定を変更する。
- システムハードウェアの構成を表示する。
- 内蔵デバイスの有効 / 無効を切り替える。
- パフォーマンスと電力管理のしきい値を設定する。
- コンピュータのセキュリティを管理する。

トピック：

- [BIOS の概要](#)
- [BIOS セットアッププログラムの起動](#)
- [ブートメニュー](#)
- [ナビゲーションキー](#)
- [ワンタイムブートメニュー](#)
- [セットアップユーティリティのオプション](#)
- [BIOS のアップデート](#)
- [システムパスワードおよびセットアップパスワード](#)
- [BIOS \(システム セットアップ \) パスワードとシステム パスワードのクリア](#)

BIOS の概要

BIOS はコンピュータのオペレーティングシステムとハードディスク、ビデオアダプタ、キーボード、マウス、プリンタなどの取り付けられているデバイス間のデータフローを管理します。

BIOS セットアッププログラムの起動

1. PC の電源をオンにします。
2. 直ちに F2 を押して、BIOS セットアッププログラムを入力します。

メモ: キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。その後、PC の電源を切り、操作をやり直してください。

ブートメニュー

デルのロゴが表示されたら <F12> を押して、ワンタイムブートメニューを開始し、システムで有効になっている起動デバイスのリストを表示します。診断および BIOS セットアップのオプションもこのメニューにあります。起動メニューに表示されるデバイスは、システムでブータブルなデバイスによって異なります。このメニューは、特定のデバイスで起動を試行する場合や、システムの診断を表示する場合に便利です。起動メニューを使用しても、BIOS に保存されている起動順序は変更されません。

このオプションは次のとおりです。

- UEFI Boot :
 - ウィンドウズブートマネージャー
- 別のオプション :
 - BIOS セットアップ
 - BIOS Flash Update
 - 診断
 - Change Boot Mode Settings (起動モードの設定の変更)

ナビゲーションキー

メモ:ほとんどのセットアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。
入力	選択したフィールドの値を選択するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。
<Esc>	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ワンタイムブートメニュー

[ワンタイムブートメニュー]を入力するには、PCの電源を入れて、すぐにF12を押します。

メモ:PCがオンになっている場合は、シャットダウンすることをお勧めします。

ワンタイムブートメニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ (利用可能な場合)
 - メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ (利用可能な場合)
- SATA ハード ドライブ (利用可能な場合)
- 診断

ブートシーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

セットアップユーティリティのオプション

メモ:お使いのタブレットコンピューターノートパソコンおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション

表 27. 一般規定

オプション	説明
システム情報	以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">システム情報：BIOSバージョン、サービスタグ、Asset Tag、購入者タグ、購入日、製造日、エクスプレス サービスコード、および署名されたファームウェアアップデートが表示されます。バッテリー情報：バッテリーステータスの正常性、およびACアダプターが取り付けられているかどうかが表示されます。プロセッサ情報：プロセッサのタイプ、コア数、プロセッサID、現在のクロックスピード、最小クロックスピード、最大クロックスピード、プロセッサL2キャッシュ、プロセッサL3キャッシュ、マイクロコードバージョン、HT対応、および64ビットテクノロジーを表示します。

表 27. 一般規定 (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> メモリ情報：搭載容量、使用可能な容量、速度、チャンネルモード、メモリテクノロジーが表示されます。 デバイス情報：パススルー MAC アドレス、ビデオコントローラー、ビデオ BIOS バージョン、ビデオメモリ、パネルタイプ、解像度、オーディオコントローラー、Wi-Fi デバイス、携帯電話デバイス、Bluetooth デバイスが表示されます。
ブートシーケンス	このリスト内の指定されたデバイスから PC がオペレーティングシステムを探す順序です。
詳細起動オプション	UEFI 起動モードの場合、[Legacy Option ROMs] オプションを選択できます。デフォルトでは、どのオプションも選択されていません。 <ul style="list-style-type: none"> Enable Attempt Legacy Boot (レガシー起動試行を有効にする)
UEFI 起動パス セキュリティ	このオプションは、F12 起動メニューから UEFI 起動パスを起動する場合に、システムがユーザーに管理者パスワードを入力するようにプロンプトするかどうかを制御します。 <ul style="list-style-type: none"> Always, Except Internal HDD - デフォルト Always Never

システム情報

表 28. システム設定

オプション	説明
日付/時刻	日付と時刻を設定できます。システムの日付と時刻の変更はすぐに有効になります。
スマートレポート	このフィールドでは、統合ドライブのハードドライブエラーをシステム起動時に報告するかどうかを制御します。[Enable Smart Reporting (スマートレポートを有効にする)] オプションはデフォルトでは無効になっています。
オーディオ	組み込み型オーディオコントローラーを有効または無効にすることができます。[Enable Audio (オーディオを有効にする)] オプションはデフォルトで選択されています。 <ul style="list-style-type: none"> Enable Microphone (マイクロフォンを有効にする) Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする) 両方のオプションがデフォルトで選択されています。
USB 設定	以下のオプションについて、内蔵 USB コントローラを有効または無効に設定できます。 <ul style="list-style-type: none"> Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする) 外部 USB ポートを有効にする すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。
SATA の動作	統合ハードドライブコントローラーの動作モードを設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> Disabled (無効) = SATA コントローラは非表示 AHCI = SATA は AHCI モード用に構成済み RAID ON = SATA は RAID モードをサポートするように構成されます (デフォルトで選択)
Drives	各種オンボードドライブを有効または無効に設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> M.2 PCIe SSD-0/SATA-0 (デフォルトで有効) M.2 PCIe SSD-1/SATA-1 (デフォルトで有効)
各種デバイス	次のデバイスの有効 / 無効を切り替えることができます。 <ul style="list-style-type: none"> Enable Camera (カメラを有効にする) (デフォルトで有効) Enable Secure Digital (SD) card - デフォルトで有効 Secure Digital (SD) Card Boot (SD カード起動)
キーボードライト	キーボードのライト設定を選択することができます。

表 28. システム設定 (続き)

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● 無効 ● Dim (暗い) ● Bright (明るい) (デフォルトで有効)
Keyboard Backlight Timeout on AC (AC でのキーボードバックライトのタイムアウト)	<p>AC アダプタがシステムに接続されている場合に、キーボードバックライトのタイムアウト値を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5 秒 ● 10 seconds (デフォルトで有効) ● 15 秒 ● 30 秒 ● 1 分間 ● 5 分間 ● 15 分間 ● Never
Keyboard Backlight Timeout on Battery (バッテリーでのキーボードバックライトのタイムアウト)	<p>システムをバッテリー電源のみで実行している場合に、キーボードバックライトのタイムアウト値を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 5 秒 ● 10 seconds (デフォルトで有効) ● 15 秒 ● 30 秒 ● 1 分間 ● 5 分間 ● 15 分間 ● Never

ビデオ

オプション 説明

[LCD の明るさ] 電源(バッテリーおよび AC)に応じてディスプレイの輝度を設定できます。バッテリーおよび AC アダプター用に LCD の輝度を別々に設定します。スライダを使用して設定できます。

EcoPower (デフォルトで有効)

セキュリティ

表 29. セキュリティ

オプション	説明
Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトを有効にする)	OFF (デフォルトで有効)
パスワードのスキップ	<p>このオプションを選択すると、システムの再起動時、System (Boot) Password と内蔵ハードドライブパスワード入力のプロンプトをスキップすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 無効：パスワードが設定されると、システムおよび内蔵ハードドライブのパスワードの入力が常に指示されます。このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ● Reboot Bypass (再起動時にスキップ) — 再起動時、パスワード入力のダイアログをスキップします (ウォームブート)。 <p>メモ: オフの状態から電源を入れると (コールドブート)、システムはシステムパスワードと内蔵ハードドライブパスワードの入力を常に指示します。また、モジュールベイハードドライブがある場合でも、パスワードの入力がシステムによって常に指示されます。</p>

表 29. セキュリティ (続き)

オプション	説明
Non-Admin Password Change	管理者パスワードが設定されている場合に、システムおよびハードディスクパスワードの変更を許可するかどうかを決定するオプションです。 Allow Non-Admin Password Changes (管理者以外のパスワードによる変更を許可) - このオプションはデフォルトで有効に設定されています。
管理者ではないセットアップの変更	管理者パスワードが設定されている場合に、セットアップオプションの変更を許可するかどうかを決定します。
UEFI カプセルファームウェアアップデート	このオプションで、システムが UEFI カプセルアップデートパッケージから BIOS をアップデートできるかどうかを制御します。このオプションは、デフォルトで選択されていますこのオプションを無効にすると、Microsoft Windows Update や Linux Vendor Firmware Service (LVFS) のようなサービスからの BIOS のアップデートをブロックします。
Absolute	このフィールドでは、オプションの Absolute® Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュール インターフェイスを、有効化、無効化、恒久的な無効化のいずれかに設定できます。 このオプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ● [有効]: このオプションはデフォルトで有効に設定されています。 ● [無効] ● [Absolute を恒久的に無効にする]
TPM 2.0 セキュリティ	TPM (Trusted Platform Module) をオペレーティングシステムが認識できるかどうかを制御することができます。 <ul style="list-style-type: none"> ● TPM On (デフォルト) ● PPI Bypass for Enable Command (デフォルト) ● 無効なコマンドの PPI をスキップ ● クリア コマンドの PPI のスキップ ● 有効な証明書 (デフォルト) ● 有効なキーストレージ (デフォルト) ● SHA-256 (デフォルト) ● TPM Enabled (デフォルト)
インテル SGX	Software Guard Extensions (SGX) は、メイン OS のコンテキストでコードの実行や機密情報を保存するためのセキュアな環境を提供します。 Software Control (デフォルトで有効)
SMM セキュリティの緩和	UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

パスワード

表 30. パスワード

オプション	説明
Enable Strong Passwords	管理者パスワードとシステムパスワードに対して厳格なルールを適用します。
Password Configuration	管理者パスワードとシステムパスワードの最小、および最大文字数を設定することができます。
Admin Password	管理者パスワードの設定、変更、または削除を行うことができます。
System Password	システムパスワードをリセットできます。
Enable Master Password Lockout	Disabled (デフォルト)

Secure Boot (安全起動)

表 31. 安全起動

オプション	説明
Enable Secure Boot	安全起動機能を有効または無効にできます。 <ul style="list-style-type: none"> Secure Boot Enable このオプションは、デフォルトで選択されています
Secure Boot Mode	UEFI ドライバ署名の評価または強制が可能になるように安全起動の動作を変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> Deployed Mode (デフォルト) Audit Mode
Expert key Management	システムが Custom Mode (カスタムモード) の場合のみ、セキュリティキーデータベースを操作できます。 Enable Custom Mode (カスタムモードを有効にする) オプションはデフォルトでは無効になっています。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> PK (デフォルト) KEK db dbx Custom Mode (カスタムモード) を有効にすると、 PK、KEK、db、および dbx の関連オプションが表示されます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> Save to File (ファイルに保存) - ユーザーが選択したファイルにキーを保存します。 Replace from File (ファイルから交換) - 現在のキーをユーザーが選択したファイルのキーと交換します。 Append from File (ファイルから追加) - ユーザーが選択したファイルから現在のデータベースにキーを追加します。 Delete (削除) - 選択したキーを削除します。 Reset All Keys (すべてのキーをリセット) - デフォルト設定にリセットします。 Delete All Keys (すべてのキーを削除) - すべてのキーを削除します。 メモ: Custom Mode (カスタムモード) を無効にすると、すべての変更が消去され、キーはデフォルト設定に復元されます。

インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ

表 32. インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ

オプション	説明
[Intel SGX Enable]	このフィールドでは、メイン OS のコンテキストでコードの実行や、機密情報の保管を行うためのセキュアな環境を設定します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> [無効] [有効] [ソフトウェア制御 (デフォルト)]
[エンクレープメモリサイズ]	このオプションで、[SGX エンクレープリザーブメモリサイズ] を設定します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 <ul style="list-style-type: none"> [32 MB] [64 MB] [128 MB] (デフォルト)

パフォーマンス

表 33. パフォーマンス

オプション	説明
[Hyper-Threading Technology]	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Disabled (無効)] • [Enabled] — デフォルト
[Intel SpeedStep]	プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする)] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[Intel TurboBoost]	プロセッサの Intel TurboBoost モードを有効または無効にすることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [Enable Intel TurboBoost (Intel TurboBoost を有効にする)] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[Multi Core Support]	このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。 <ul style="list-style-type: none"> • [All] — デフォルト • [1]
[C-States Control]	プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • [C States] このオプションは、デフォルトで設定されています。

電力管理

オプション	説明
[AC Behavior]	AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。 デフォルト設定：Wake on AC (ウェイクオン AC) は選択されていません。
[Auto On Time]	コンピュータを自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Disabled (無効) • Every Day (毎日) • Weekdays (平日) • Select Days (選択した日) デフォルト設定：Disabled (無効)
[Peak Shift]	このオプションでは、ピーク時の AC 電源消費を最小限に抑えることができます。このオプションを有効にすると、システムは AC に接続されている場合でもバッテリーのみで動作します。 <ul style="list-style-type: none"> • Enable peak shift - 無効になっています • Set Battery Threshold (バッテリしきい値の設定) (15 ~ 100 %) - 15 % (デフォルトで有効)
[バッテリーの充電設定]	バッテリーの充電モードを選択することができます。オプションは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • Adaptive (適応) — デフォルトで有効 • Standard (標準) — 標準速度でバッテリーをフル充電します。

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ExpressCharge (高速充電) — デルの高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーを充電できます。 Primarily AC use (主に AC を使用) カスタム <p>Custom Charge (カスタム充電) が選択されている場合は、Custom Charge Start (カスタム充電開始) と Custom Charge Stop (カスタム充電停止) も設定できます。</p> <p>メモ: バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。このオプションを有効にするには、[Advanced Battery Charge Configuration (高度なバッテリー充電設定)] オプションを無効にする必要があります。</p>
[Advanced Battery Charge Configuration]	<p>このオプションにより、バッテリーの性能を最大限に活用できます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。</p> <p>Enable Advanced Battery Charge Mode - 無効になっています</p>
Enable Intel Speed Shift Technology	<ul style="list-style-type: none"> Enable Intel Speed Shift Technology <p>デフォルト設定: Enabled (有効)</p>
[USB Wake Support]	<p>USB デバイスをシステムに接続するとスタンバイモードからウェイクするように設定できます。</p> <p>メモ: この機能は、AC 電源アダプタを接続している場合のみ有効になります。待機状態で AC 電源アダプタを取り外すと、セットアップユーティリティはバッテリーの電力を節約するため、すべての USB ポートへの電力供給を停止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Enable USB Wake Support (USB ウェイクサポートを有効にする)
[Wake on WLAN(ウェイクオン WLAN)]	<p>LAN 信号によってトリガーされた時にコンピュータをオフ状態からオンにする機能を有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> Disabled (無効) WLAN <p>デフォルト設定: Disabled (無効)</p>

ワイヤレス

オプションの説明

[WWAN/GPS]	<p>内部 WWAN/GPS デバイスを有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルトで有効になっています。</p>
[Wireless Device Enable]	<p>内蔵ワイヤレスデバイスを有効または無効にすることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> WLAN Bluetooth <p>すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。</p>

POST Behavior (POST 動作)

オプション	説明
[Adapter Warnings]	<p>特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。</p> <p>デフォルト設定: Enable Adapter Warnings (アダプタ警告を有効にする)。</p>
[Extended BIOS POST Time]	<p>プレブート遅延を追加で作成することができます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0 秒 - デフォルトで有効です 5 秒

オプション	説明
	<ul style="list-style-type: none"> ● 10 秒
Fastboot	<p>一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。オプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Minimal — デフォルトで有効 ● Thorough (完全) ● 自動
[Fn Lock Options]	<p>ホットキーの組み合わせ <Fn>+<Esc> で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。使用可能なオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Fn Lock (Fn ロック) — デフォルトで有効に設定されています。 ● ロックモード無効 / 標準 - デフォルトで有効 ● ロックモード有効 / セカンダリ
[Numlock Enable]	<p>コンピュータの起動時に Numlock オプションを有効にすることができます。</p> <p>Enable Network (ネットワークを有効にする)。このオプションはデフォルトで有効化されています。</p>
Full Screen logo	<ul style="list-style-type: none"> ● 全画面のロゴを有効にする - 有効になっていません
Warnings and Errors	<ul style="list-style-type: none"> ● 警告およびエラー時のプロンプト - デフォルトで有効です ● 警告時に続行 ● 警告およびエラー時に続行します
MAC Address Pass- Through	<p>外部の NIC MAC アドレスをシステムから選択した MAC アドレスに置き換えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● System Unique MAC Address (デフォルト オプション) ● Disabled (無効)

Virtualization Support (仮想化サポート)

オプション	説明
Virtualization Technology (仮想化テクノロジー)	<p>このフィールドでは、インテル バーチャライゼーションテクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (仮想マシン モニター) で使用できるようにするかどうかを指定します。</p> <p>Enable Intel Virtualization Technology - デフォルトで有効に設定されています。</p>
[VT for Direct I/O]	<p>ダイレクト I/O 用に Intel® Virtualization テクノロジーによって提供される付加的なハードウェア機能を仮想マシンモニター (VMM) が利用するかどうかを指定します。</p> <p>Enable VT for Direct I/O (ダイレクト I/O 用 VT を有効にする) — デフォルトで有効に設定されています。</p>

メンテナンス画面

オプション	説明
[Asset Tag]	<p>Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。このオプションは、デフォルトでは設定されていません。</p>
[サービス タグ]	<p>お使いの PC のサービス タグが表示されます。</p>
[BIOS リカバリー]	<p>このフィールドで、ユーザーのプライマリハード ドライブまたは外付け USB キーのリカバリファイルから特定の破損した BIOS 状況をリカバリできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● BIOS Recovery from Hard Drive (ハード ドライブからの BIOS のリカバリー) — デフォルトで有効に設定されています。 ● Always perform integrity check (常に整合性チェックを実行) — デフォルトで無効に設定されています。
[データ ワイプ]	<p>このフィールドでは、すべての内蔵ストレージデバイスからデータを安全に消去するかどうかを制御できます。「Wipe on Next boot (次回起動時に消去)」オプションは、デフォルトで有効に設定されていません。次のデバイスに影響があります。</p>

オプション 説明

- 内蔵 M.2 PCIe SSD

[BIOS Downgrade] ここで、システムファームウェアの以前のリビジョンへのフラッシングを制御します。[Allow BIOS downgrade (BIOS のダウングレードを許可)] オプションは、デフォルトで有効に設定されています。

システムログ

オプション 説明

[Power Events] セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

- Keep (デフォルト)
- Clear (クリア)

[BIOS Events] セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。

- Keep (デフォルト)
- Clear (クリア)

[Thermal Events] セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。

- Keep (デフォルト)
- Clear (クリア)

SupportAssist システムの解決策

オプション 説明

[Auto OS Recovery Threshold] SupportAssist システムの自動ブートフローを制御することができます。オプションは、次のとおりです。

- 消灯
- 1
- 2 (デフォルトで有効)
- 3

[SupportAssist OS Recovery] SupportAssist OS Recovery によりリカバリすることができます (デフォルトでは無効有効に設定されていません)

BIOS のアップデート

Windows での BIOS のアップデート

△注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

1. www.dell.com/support にアクセスします。
2. [製品名] をクリックします。[検索サポート] ボックスでお使いの PC のサービス タグを入力し、[検索] をクリックします。
①メモ: サービス タグがない場合は、SupportAssist 機能を使用して、お使いの PC を自動で確認してください。製品 ID を使用するか、お使いの PC のモデルを手動で参照することもできます。
3. [Drivers & Downloads] (ドライバおよびダウンロード) をクリックします。[ドライバーの検索] を展開します。
4. お使いのコンピュータにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
5. [カテゴリー] ドロップダウン リストで [BIOS] を選択します。
6. 最新の BIOS バージョンを選択して [ダウンロード] をクリックし、お使いの PC 用の BIOS ファイルをダウンロードします。

7. ダウンロードが完了したら、BIOS アップデート ファイルを保存したフォルダーを参照します。
8. BIOS アップデート ファイルのアイコンをダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。
詳細については、www.dell.com/support でナレッジ ベース記事 [000124211](#) を参照してください。

Linux および Ubuntu での BIOS のアップデート

Linux または Ubuntu がインストールされている PC のシステム BIOS をアップデートするには、www.dell.com/support にあるナレッジ ベース記事 [000131486](#) を参照してください。

Windows の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート

注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

1. 「[Windows での BIOS のアップデート](#)」にある手順 1~6 に従って、最新の BIOS セットアップ プログラム ファイルをダウンロードします。
2. 起動可能な USB ドライブを作成します。詳細については、www.dell.com/support でナレッジ ベース記事 [000145519](#) を参照してください。
3. BIOS セットアップ プログラム ファイルを起動可能な USB ドライブにコピーします。
4. 起動可能な USB ドライブを BIOS のアップデートを必要とするコンピューターに接続します。
5. PC を再起動し、**F12** を押します。
6. **ワンタイム ブート メニュー** から USB ドライブを選択します。
7. BIOS セットアップ プログラム のファイル名を入力し、**Enter** を押します。
BIOS アップデート ユーティリティ が表示されます。
8. 画面の指示に従って BIOS のアップデートを完了します。

F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のアップデート

FAT32 USB ドライブにコピーされた BIOS update.exe ファイルを使用して PC の BIOS をアップデートし、F12 ワンタイム ブート メニューから起動します。

注意: BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

BIOS のアップデート

ブータブル USB ドライブを使用して Windows から BIOS アップデート ファイルを実行するか、PC の F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートできます。

2012 年より後に構築されたほとんどの Dell 製 PC にはこの機能があり、PC を F12 ワンタイム ブート メニューで起動することにより、PC のブート オプションとして [BIOS フラッシュ アップデート] がリストされていることを確認できます。このオプションがリストされている場合、BIOS はこの BIOS アップデート オプションをサポートします。

メモ: F12 ワンタイム ブート メニューに [BIOS フラッシュ アップデート] オプションがある PC でのみ、この機能を使用できます。

ワンタイム ブート メニューからのアップデート

F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートするには、次のものがが必要です。

- FAT32 ファイル システムにフォーマットされた USB ドライブ (キーはブータブルでなくてもよい)
- Dell サポート用 Web サイトからダウンロードして、USB ドライブの root にコピーした BIOS 実行可能ファイル
- PC に接続された AC 電源アダプター

- BIOS をフラッシュする動作可能な PC バッテリー

F12 メニューから BIOS アップデートフラッシュプロセスを実行するには、次の手順を実行します。

△注意: BIOS のアップデート プロセス中に PC の電源をオフにしないでください。PC の電源をオフにすると、PC が起動しない場合があります。

1. 電源オフの状態から、フラッシュをコピーした USB ドライブを PC の USB ポートに挿入します。
2. PC の電源をオンにして F12 を押し、ワンタイム ブート メニューにアクセスした後、マウスまたは矢印キーを使用して [BIOS アップデート] を選択し、Enter を押します。
フラッシュ BIOS メニューが表示されます。
3. [[ファイルからフラッシュ]] をクリックします。
4. 外部 USB デバイスを選択します。
5. ファイルを選択してフラッシュ ターゲット ファイルをダブルクリックした後、[送信] をクリックします。
6. [BIOS のアップデート] をクリックします。PC が再起動して、BIOS をフラッシュします。
7. BIOS のアップデートが完了すると、PC が再起動します。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 34. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログインする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

△注意: パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

△注意: PC をロックせずに放置すると、PC 上のデータにアクセスされる可能性があります。

①メモ: システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

ステータスが未設定の場合のみ、新しいシステム パスワードまたは管理者パスワードを割り当てることができます。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F12 を押します。

1. [システム BIOS]画面または[システム セットアップ]画面で[セキュリティ]を選択し、Enter を押します。
[セキュリティ]画面が表示されます。
2. [システム/管理者パスワード]を選択し、[新しいパスワードを入力]フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 少なくとも 1 個の特殊文字： ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | }
 - 0~9 の数字。
 - A~Z の大文字。
 - a~z の小文字。
3. **新しいパスワードの確認**フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
4. Esc を押し、ポップアップ メッセージの指示に従って変更を保存します。
5. Y を押して変更を保存します。
PC が再起動されます。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

既存のシステム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、[パスワード ステータス] が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。パスワード ステータスがロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F12 を押します。

1. [システム BIOS]画面または[システム セットアップ]画面で、[システム セキュリティ]を選択し、Enter を押します。
System Security (システムセキュリティ) 画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスがロック解除に設定されていることを確認します。
3. [システム パスワード]を選択し、既存のシステム パスワードをアップデートまたは削除して、Enter または Tab を押します。
4. [セットアップ パスワード]を選択し、既存のセットアップ パスワードをアップデートまたは削除して、Enter または Tab を押します。

① メモ: システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。

5. Esc を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. Y を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

BIOS (システム セットアップ) パスワードとシステム パスワードのクリア

システムまたは BIOS パスワードをクリアするには、Dell テクニカル サポート (www.dell.com/contactdell) にお問い合わせください。

① メモ: Windows またはアプリケーションのパスワードをリセットする方法については、Windows またはお使いのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

トピック：

- [Dell へのお問い合わせ](#)

Dell へのお問い合わせ

①メモ: インターネットにアクセスできない場合には、注文書、配送伝票、請求書、または Dell 製品カタログにある、お問い合わせ情報をご利用ください。

Dell では、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell のセールス、テクニカルサポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. [Dell.com/support] にアクセスしてください。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある [国 / 地域の選択] ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 目的のサービスまたはサポートを選択します。